

市立長浜病院は創立80周年

市立長浜病院 地域医療連携だより

令和6年8月1日号

No.233

理念

地域住民の健康を守るため、
「人中心の医療」を発展させ、
地域完結型の医療を推進します。

市立長浜病院
患者総合支援センター 地域医療連携室

救急告示病院 地域がん診療連携拠点病院 地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院 厚生労働省臨床研修指定病院 周産期協力病院



謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。8月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

Newsweek 誌 Best Specialized Hospitals Asia Pacific2024 に循環器内科が選出されました



高島副院長
循環器内科責任部長

世界的なニュースメディア『Newsweek』社が毎年発表している『アジア・太平洋地域の最も優れた専門病院 ベスト 100 循環器科部門』において、『市立長浜病院循環器内科』が選出されました。

このランキングは、アジア・オーストラリアなど太平洋地域9カ国の病院を対象に、9つの主要な医療分野について Newsweek 社が医療関係者からの推薦や患者さんからの評価などに基づいて選定されています。

国内はもとより、世界各国の大都会に立地する大学病院や循環器病センターが名を連ねる中、一地方都市の自治体病院循環器内科が選ばれることは極めて異例です。

地域の皆様のご支援、ご尽力に深く感謝致しますとともに、その信頼にお応えするため、今後もこの湖北で、人間的な温かみを重視しながら、より高いレベルの循環器病診療を目指して参ります。

夢を持って進めよう 人中心の医療

創立80周年記念式典



高折院長の式辞

当院は、本年6月に創立80周年を迎えることができ、7月7日、長浜文化芸術会館を会場に「市立長浜病院創立80周年記念式典」を挙行政いたしました。式典には長浜市民の皆さま、ご来賓、医療関係者など約210人の方にお越しいただきました。

高折院長が式辞としてスライド映像とともに当院80年の歩みを振り返り、開院当初から市民の方の医療への熱い思いを感じ、ともに歩んできた歴史であったことに触れ、市民の方への感謝とより市民に愛される病院をめざすと挨拶されました。

野田名誉院長は、謝辞として、これまでの支援に全職員は一丸となり夢を持って地域医療を進めようと結ばれました。



野田名誉院長の謝辞

当日の様子はHPもご覧ください



医師の異動（8月）

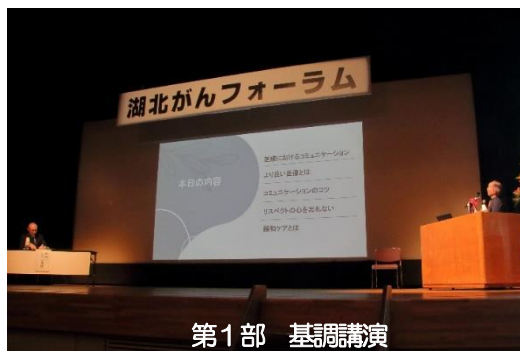
■着任（令和6年8月 1日付）

ありません

■退職（令和6年7月31日付）

三由 僚 呼吸器外科部長

湖北がんフォーラム2024を開催しました

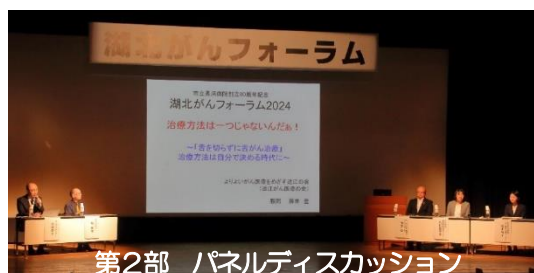


第1部 基調講演

7月7日（日）に、湖北がんフォーラムを長浜文化芸術会館で開催し、猛暑日の中、多くの市民の皆さまにご参加いただきました。今回のフォーラムは、「患者×医療者＝良好なコミュニケーションのススメ」をテーマに、患者が望む治療の選択やケアの内容を共有する際に必要な良好なコミュニケーションのあり方について考えました。

第1部では、淡海医療センターの緩和ケア内科部長の堀泰祐先生から、より良い医療を受けるためのコミュニケーションのコツを、体験談を踏まえお話いただきました。

第2部では、よりよいがん医療をめざす近江の会顧問の藤井登さんから、治療方法は自分で決めることの重要性を、長浜米原地域医療支援センター専門員の丸岡留美子さんから、自分の思いを周りの家族や医療者に伝えることの大切さを、また、当病院のがん相談支援センター社会福祉士の橋本祥子さんから、がんに関する相談や医療者とのコミュニケーションに悩んだときの相談先について発表をいただき、その後、



第2部 パネルディスカッション

講師を交えてパネルディスカッションを行いました。

参加者からは、「分かり易くお話いただきありがとうございます」「体験談のお話が大変参考になります」「相談の窓口があることを知ることができました」など多くの感想をいただきました。



第1部 講師 堀先生

生涯教育研修会を開催します

第341回 開放型病床生涯教育研修会

日時 9月5日（木） 17時30分～18時30分 （17時から受付開始）

会場 当院本館2階 講堂 （今回はZoomでの参加もできます。）

テーマ 地域一丸の糖尿病対策 ～腎症重症化予防から病診連携、最新治療まで～

講師 矢部大介先生 京都大学大学院糖尿病、内分泌、栄養内科学教授

申込み締切り 8月28日（水）

申込み方法等 別紙チラシを参照ください。 問合せ 地域医療連携室 堀江 Tel 68-2300（代表）



院内デイを支える「はっばの会」



7月17日（水）14時から、入院患者さんの精神的賦活に繋がることを目的とした交流会・院内デイを開催しました。患者さんの一生懸命な姿や笑顔、歌う喜びなどなど、楽しい時間は瞬く間に過ぎていきました。今回からボランティアグループ『はっばの会』の皆さまにご支援いただき、患者さんを支えていただきました。

コロナウイルス感染症が5類になったことで、『はっばの会』の皆さまは今年度より当院で活動を再開したいと、申し出てくださいました。経験豊富な頼りになるお姉さん方です。今後ともご近所のお友達感覚で院内デイ・交流会をお助けいただく予定です。